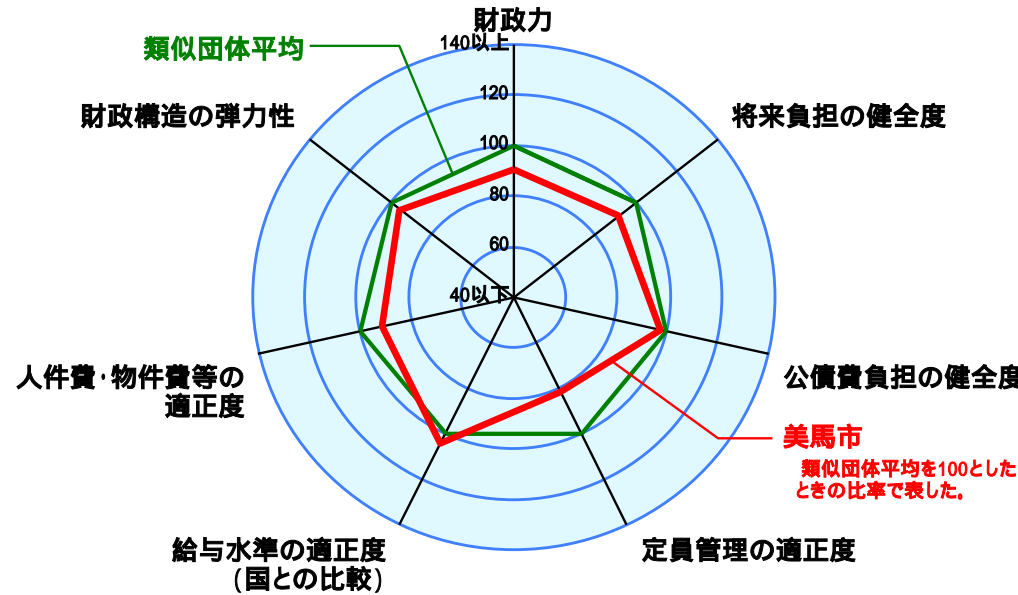
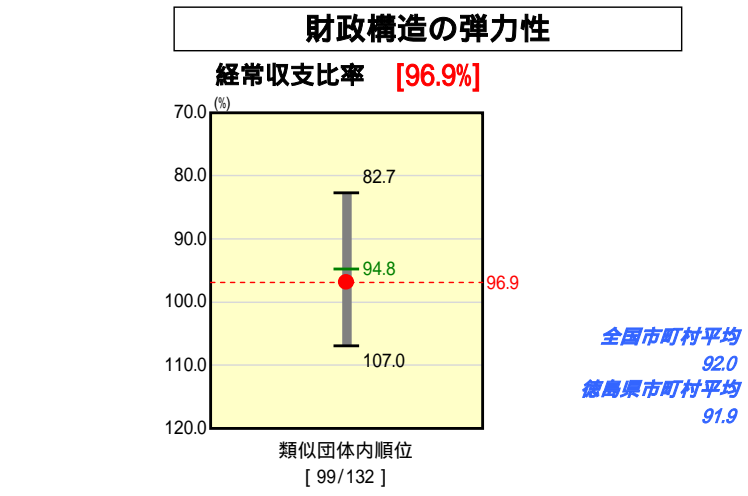
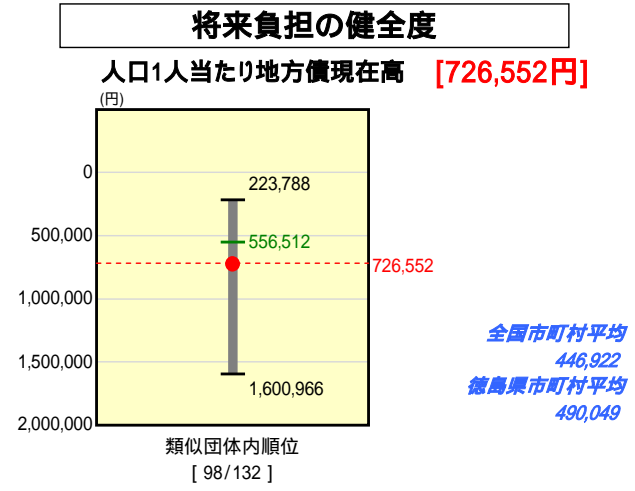
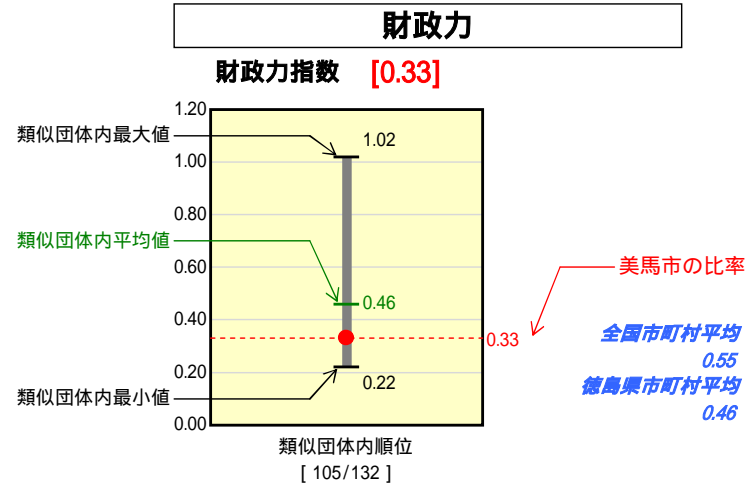


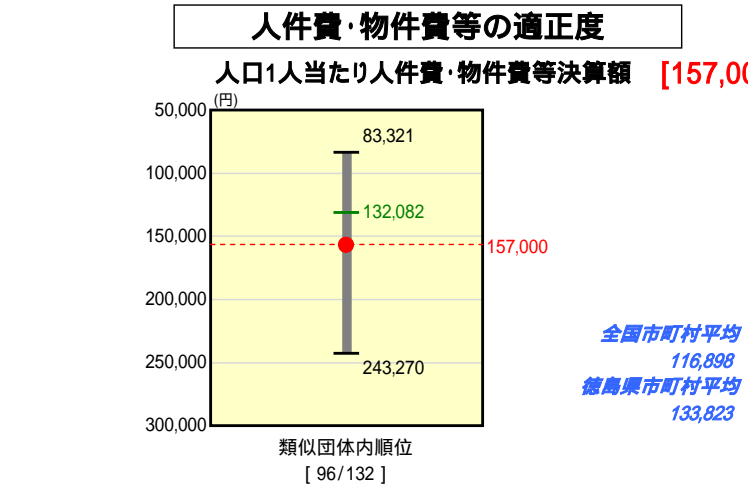
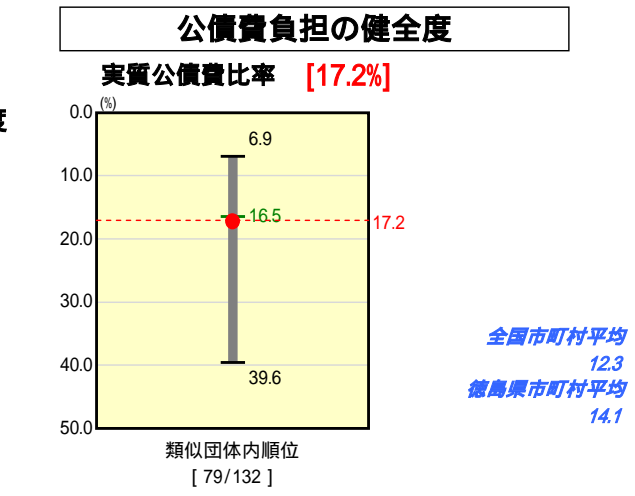
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 徳島県 美馬市

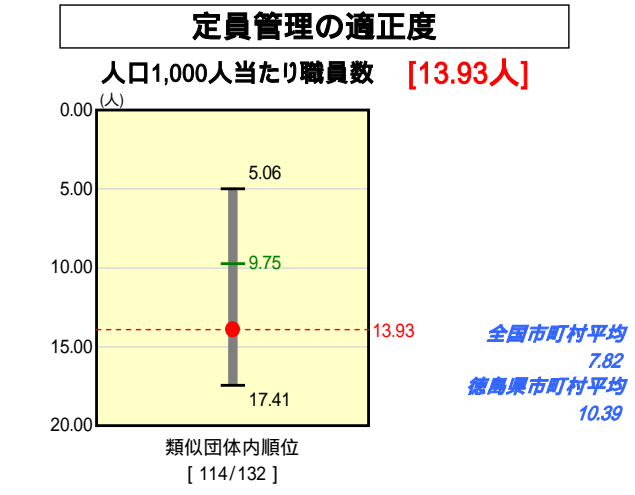
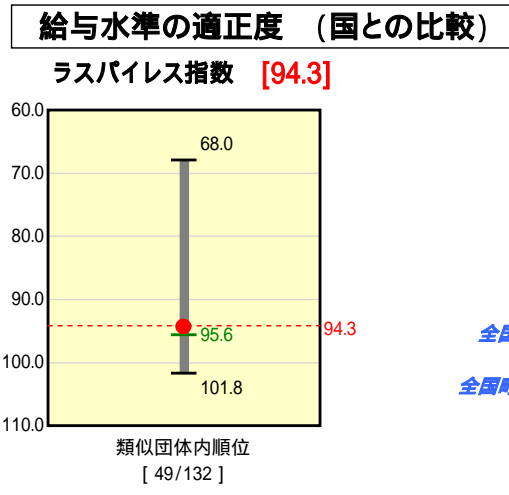
人口	34,016	人(H20.3.31現在)
面積	367.38	km <sup>2</sup>
歳入総額	17,561,565	千円
歳出総額	17,244,561	千円
実質収支	307,276	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



### 分析欄

**・財政力指数**  
主たる産業集積がなく、自主財源が、全体の22.9%と脆弱な財政構造となっているが、平成18年度より取り組んでいる税徴収率向上への取り組みの成果が見られる(昨年度比0.01ポイント増)。今後とも徴収率の向上を含めた徴収確保対策や財政の効率化による歳出削減等により、財政の健全化に努めていく。

**・経常収支比率**  
歳出面では、人件費や公債費などの義務的経費が全体の53.0%を占めており、歳入面では、臨時財政対策債の減少などにより、類似団体を上回る数値となっている。  
平成18年度より給与カットや、一般職の退職者不補充などによる人件費の削減や、事務事業の見直しによる一般行政経費の削減などを行っており、経常収支比率の抑制に努めている。

**・実質公債費比率**  
長期的に建設計画での事業費の抑制を図るとともに、普通会計をはじめ、特別会計や、一部事務組合などの市の外郭団体を含めた公債費の抑制に努める。また、H19年度より3年間繰上償還を活用し、将来負担の軽減を図る。

**・人口1人当たりの地方債残高**  
事業の選択と集中を行い、新規発行額の抑制に努める。

**・ラスバイレス指数**  
類似団体の数値を下回っているが、今後とも給与体系の見直しや各種手当等の総点検を行うことにより、より一層の適正化を図っていく。

**・人口1,000人当たりの職員数**  
合併後間もないことから、類似団体の数値を上回っているが、一般職の退職者不補充等により、今後10年間で124人以上の削減を行う。

**・人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
類似団体を上回る数値となっているが、人件費については、平成18年度から、給与カットや、一般職の退職者不補充等を行い、また物件費等については、事務事業の見直しにより、それぞれ抑制に努めている。